

## 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	リバーサイドパークーの谷
	所在地	あきる野市引田776
	所管課	環境経済部観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係
指定管理者	名 称	一般社団法人あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市館谷台16番地
	業務内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設の利用等に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用の受付業務</li> <li>・器具類の貸出し業務</li> </ul> </li> <li>2 環境衛生協力費等の徴収に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者が、施設内に自動車等を持ち入れる際の環境衛生協力費の徴収業務</li> <li>・器具類等の貸出し料徴収業務</li> </ul> </li> <li>3 施設の維持管理に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の清掃業務</li> <li>・施設の軽微な修繕に関する業務</li> </ul> </li> <li>4 施設の利用促進を図るための企画実施に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントの支援業務</li> <li>・施設の見学に関する業務</li> <li>・広告・宣伝業務</li> <li>・施設利用者に対する意識調査の実施業務</li> </ul> </li> </ol>
	ホームページURL	<a href="https://www.akirunokanko.com/?p=3975">https://www.akirunokanko.com/?p=3975</a>
	指 定 期 間	平成29年4月1日 ～ 令和2年3月31日

### 2 施設の利用状況等について

項 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館等日数(日)	308	296	309	301	171
来客者数(人)	約4,800	2,826	2,644	1,820	1,204
前年度比(人)	500	△1,974	△182	△824	△616
前年度比(%)	111.6	58.9	93.6	68.8	66.2
利用料金等合計(千円)	4,096	2,713	2,446	2,487	1,570
前年度比(千円)	539	△1,383	△267	41	△917
前年度比(%)	115.2	66.2	90.2	101.7	63.1

### 3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金収入 (売上)	3,134	2,081	1,901	1,881	1,170
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	963	631	545	606	399
	計	4,097	2,712	2,446	2,487	1,570
支 出	人件費	2,832	2,524	2,711	2,535	1,190
	維持管理経費	401	480	368	261	542
	自主事業 関係経費	0	0	0	0	0
	その他の支出	1,223	973	632	648	845
	計	4,456	3,977	3,711	3,444	2,576
収支 (収入－支出)		△359	△1,265	△1,265	△958	△1,007

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート (実施時期や具体的な方法など)
利用者に対し、口頭にて利用状況等を確認している。静かな場所でバーベキューを楽しみたいとの声がある。また、電話等予約の際には、新規利用者かリピーターかの確認と、施設利用に当たっての要望などを聞いている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
静かな環境でバーベキューをしながら川遊びをしたいという問い合わせが多いことから、事故防止対策も含めよりよい環境整備に注視したい。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など (取組の内容、効果など)
小中学校等の課外授業や地域事業に対して施設を貸し出すなど、積極的な受け入れを行っている。鉄板等のレンタル用品を洗わずに返却できる仕組みや、地域事業者と連携しながら食材を提供するなど、気軽にバーベキューを楽しめる施設として、利用者のサービス向上に努めている。

### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
業務に支障のない範囲で節電、節水に努めている。

### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
<p>人件費や施設内整備費用などの経費削減に取り組みながら、施設安全管理や利用者のサービス低下とにならないよう努力した。年々減少している利用者数について、バーベキューとともに川遊びもできる園内整備や環境づくりを心がけ、新規利用者及びリピーターの増加を目指してきた。</p> <p>下半期は、10月の台風19号により河川が氾濫し、施設が甚大な被害を受けたため閉園を余儀なくされた。</p> <p>自然環境を保全するために管理運営しているが、自然の猛威には為すすべもなく、施設を復旧しなければ開園できないなど、時間と労力と資金を今後どのように準備しなくてはならないのか検討すべきと考えている。</p> <p>利用者数が減少しており、様々な視点から、利用者ニーズに合った施設機能や利用形態などの改革、サービスの改善やPR方法などを検討し、他の場所と差別化した求められる公園(観光施設)を模索している。今後とも、利用者に安心・安全のサービスを提供できるよう引き続き努力していく。</p>

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
地域行事の際の施設を貸し出しや利用者に対する事故・トラブル防止のための注意喚起など、利用者及び近隣住民等に配慮し、サービスの向上に取り組んでいる。	
経費削減の取組	
利用者に配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減が図られている。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
台風19号の被害を受け、下半期は閉園となるなど、経営的にも非常に厳しい状況であった。今後の整備についても、河川管理者との調整が必要であるため、関係機関と連絡調整を密に図りながら開園に向けた計画を練ってもらいたい。	
総合評価	<b>A</b>

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。